

福岡

※2024年春実施の全国公立高校入試情報は、2023年12月1日現在によるものです。

1. 日程

[特色化選抜][連携型選抜]

○面接等

1/24・25

○内定通知

1/29

[推薦入学者選抜]

○面接等

2/6・7

○内定通知

2/13

[一般入学者選抜]

●学力検査

3/5

○個性重視の特別試験（実施校のみ）

3/6

○合格者発表

3/15

※補充募集実施校発表 3/15

2. 学力検査

[一般入学者選抜]

国語：50分・60点

数学：50分・60点

英語：55分(リスニングテスト15分，筆記テスト40分)・60点

理科：50分・60点

社会：50分・60点

<300点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

○英語聞き取りあり

○国語条件作文あり（例年）

3. 調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階（絶対評価）

○2年…5段階（絶対評価）

○3年…5段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

3年重視（3年のみ合計）

3年：9教科×5段階＝45点

<45点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

同等

[判定方法]

①調査書点と学力検査点の序列がともに校長が定める一定数（入学定員以内・6割程度が多数）に入っている者をA群，その他の者をB群とする。

A群については，調査書に特に支障がなければ入学予定者とする。

②A群のうち入学予定者とならなかった者とB群の者について，調査書のその他の記録も重視し，調査書点と学力検査点の序列，その他の資料も精査して，総合的に選考して合否を決定する。（高校により，調査書の記載事項で特に重視する部分を定めて選考する。また，個性重視の特別試験を実施する高校ではその結果を活用する。）

なお，第2志望校（「備考」参照）では，合格者数が定員に満たない場合に限り，第1志望校を合格とならなかった第2志望校制度による志願者を選抜対象とする。

5. 推薦入学等

■特色化選抜

志願動機・理由が明白・適切で，志願する学科・コースに適正・興味・関心を有する者が出願する。

志願理由書を提出。

連携型選抜・推薦入試との併願はできない。

[検査内容]

面接，《作文，実技》

[募集人員]

各実施校で定める。

■推薦入学者選抜

一部の高校を除き実施。中学校長の推薦を受けた者が出願できる。

志願理由書を提出。

連携型選抜・特色化選抜との併願はできない。

[検査内容]

面接，《作文または実技》

[募集人員]

各高校・学科ごとに「〇人程度」と，人数で設定。

■連携型選抜

大川樟風

連携する中学校の生徒で、中学校長の推薦を受けた者が対象。

志願理由書を提出。

[検査内容]

面接

[内定者上限人数] (目安)

- ・普通科総合コース・文理コース…32人
- ・住環境システム科…16人

■帰国生徒等特例措置

帰国生徒等を対象に、選抜に必要な特例措置を講じる。

実施する高校が決まっている。(19校)

[検査日程]

1月24日

[検査内容]

特別学力検査(国・数・英), 作文, 面接

※推薦入学, 一般学力検査での特例措置もある。

6. 備考

学年制普通科のみ, 通学区域がある。

複数の学科・コースを持つ高校では, くくり募集を実施する学科・コースがある。

[実施校]

小倉商業, 若松商業, 折尾・筑豊の総合ビジネス科とビジネス情報科

また, 一般入学者選抜に限り, 指定された高校の学科・コースを第2志望として志願できる制度がある(第2志望校制度)。この場合, 第2志望校が志願者にとって学区外であっても可。第1志望校内の他の学科・コースを第2志望校として志願することもできる(実施校は21校)。

[通学区域]

- 普通科(単位制を除く)…13の学区に分かれている。
- 文理共創科・理数科・英語科…通学区域が分かれている。
- その他の学科・コース, 単位制…県内全域を通学区域とする。

[個性重視の特別試験]

11校で実施。学力検査のほか, 面接, 作文または実技を実施し, 選考の資料とする。

[学力検査の傾斜配点]

特定の教科の得点×1.5

- 玄界の国際文化コース, 香住丘・北筑・久留米・嘉穂東の英語科…英語
- 城南の理数コース, 香住丘の数理コミュニケーションコース, 八幡・新宮・鞍手・筑紫丘・明善・嘉穂の理数科…数学・理科

[調査書の傾斜配点]

特定の教科の評定×1.5

○北九州・三井・直方・早良の普通科体育に関するコース…保体